

三十光年の星たち

登場人物紹介

坪木 仁志

恋人と始めた事業に失敗し、
借金80万円をかかるあげく
父親にも勘当された30歳の青年。
佐伯に借りた金を返済する代わりに、
佐伯の専属運転手として共に借金取り立ての旅に出る。
落語やクラシック音楽を好む。

北里 虎雄

北里千満子の息子。
京都の東山区にある陶磁器店に勤めている。
植樹祭で出逢ってから交流が始まり、
仁志の家と一緒に住むことになる。
紗由里に想いを寄せる。

竹内 紗由里

仁志の友人。
パン屋でアルバイトをしている。
職人や匠の世界に惹かれ、
京都を代表する染物屋で働くことになる。

佐伯 平蔵

仁志の家の隣に住む金貸しの老人。
借金をしている仁志を運転手として雇い、
その日当を仁志の借金から引いていくことを提案する。
39歳の時、妻と息子を火事で亡くした。
若い頃に怪我をしたせいで膝が悪い。

三浦 紀明

交差点で発作を起こした際、
佐伯に助けられたことをきっかけに、
佐伯との親交が始まった。
乾物屋を営んでいた時に、
その2階で暮らす赤尾月子に金を貸し、
商売を始めさせた。

赤尾 月子

三浦からの出資を受け、
スパゲッティ料理専門店「ツッキッコ」を開く。
店は大繁盛していたが、
子宮がんとの闘病をきっかけに閉店した。
仁志と佐伯の松江への旅に同行する。

平尾 哲子

松江市在住、認知症の母と2人暮らし。佐伯からの融資200万円で
京都におでん屋を開き、繁盛していたにも関わらず突然
店を閉めた。

北里 千満子

京丹後市在住。自殺した夫が佐伯
に借りた200万円を32年間ごつ
ごつ返済し続けている。2人の
子どもを女手ひとつで
育て上げた。

有村 富恵

佐伯に200万円を借りたが1円も
返さないまま他界した。佐伯が金を
貸した当時は伏見区に住んでおり、
亭主と別れて3年目だった。

沢田 まり子

四日市市在住で夫と娘の3人暮らし。
佐伯からの融資を受けて惣菜屋
を開業したが、92万円の借金
を残したまま返済が滞つ
ている。